

再評価結果（平成28年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課
担当課長名：川崎 茂信

事業名 地域高規格道路 <small>ありあけかいえんがん</small> 有明海沿岸道路 一般国道444号 <small>さがふくどみ</small> 佐賀福富道路	事業 区分 一般国道	事業 主体 佐賀県
起終点 自：佐賀県佐賀市嘉瀬町中原 <small>さが かせまちなかぼる</small> 至：佐賀県杵島郡白石町福富 <small>きしま しらいしちようふくどみ</small>		延長 10.5 km
事業概要 国道444号佐賀福富道路は、地域高規格道路 有明海沿岸道路の一部を構成する道路であり、交通混雑の緩和及び交通隘路区間を回避することによる緊急輸送道路としての機能確保を目的とした延長約10.5 kmの道路である。		
H13年度事業化	都市計画決定 無し	H18年度用地着手
H19年度工事着手		
全体事業費	約580億円	事業進捗率 54%
計画交通量	約19,500～約22,700台/日	供用済延長 4.5 km
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 1.9	総費用 (残事業)/事業全体 223/578億円 事業費：218/568億円 維持管理費：4.7/9.7億円
	(残事業) 3.8	
総便益 (残事業)/事業全体 851/1,121億円 走行時間短縮便益：714/893億円 走行経費減少便益：104/160億円 交通事故減少便益：33/68億円		基準年 平成27年
感度分析の結果 (事業全体) 交通量 : B/C=1.7～2.1(交通量 ±10%) (残事業) 交通量 : B/C=3.4～4.2 (交通量 ±10%) 事業費 : B/C=1.8～2.2(事業費 ±10%) 事業費 : B/C=3.5～4.2 (事業費 ±10%) 事業期間 : B/C=1.7～2.2(事業期間±20%) 事業期間 : B/C=3.6～4.0 (事業期間±20%)		
事業の効果等 ・円滑なモビリティの確保（九州佐賀国際空港へのアクセス向上） ・国土・地域ネットワークの構築（地域高規格道路） ・救急医療活動への支援（第3次救急医療施設）		
関係する地方公共団体等の意見 ・佐賀市から鹿島市までの沿線市町や県議会議員及び商工会等で構成する有明海沿岸道路建設促進佐賀県期成会（会長：佐賀市長）による要望活動が行われている。		
事業評価監視委員会の意見 ・佐賀県公共事業評価監視委員会において、審議の結果「事業継続」が妥当であると認められた。		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 ・平成23年3月に嘉瀬南IC～久保田IC間(L=1.7km)、平成25年3月に久保田IC～芦刈IC間(L=2.8km)が開通。 ・残区間については、用地買収及び道路改良・橋梁工事の推進を行っている。		
事業の進捗状況、残事業の内容等 用地取得率約82%、事業進捗率約54%（H28年2月時点）		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 残る用地の取得を継続しており、今後は早期完了を目指し、橋梁及び道路改良の工事を推進していく。		
施設の構造や工法の変更等 全線軟弱地盤上に構築することとなるため、地盤特性を的確に把握し効率的な軟弱地盤対策工法を選定しコストの縮減を図る。		
対応方針 事業継続		
対応方針決定の理由 事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。		

事業概要図



- ※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
- ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。